

Contents

発音記号と発音の仕方……………巻頭	リスニング対策…………… 14
はじめに…………… 4	別冊英文解説…………… 15
本書の構成…………… 8	学習計画例…………… 16
本書の効果的活用法…………… 10	
音声コンテンツと利用法…………… 11	INDEX ……………442
本書の略号・記号, 見出し語, 通し番号,	英文出典……………466
発音記号…………… 12	覚えておきたい接頭辞・接尾辞……………巻末
速読英単語シリーズの単語レベル…………… 13	

STAGE 1

1 お茶の木の種類 [文化] …………… 18	27 読書の重要性 (1) [文化] …………… 182
2 オオカミの子育て [科学] …………… 22	28 読書の重要性 (2) [文化] …………… 188
3 ビタミンCの働き [医療] …………… 26	29 ダイエットに関する意外な論文 (1)
4 服のボタンの位置がもつ意味 [社会] 32	[人間]…………… 196
5 drug の定義 [言語] …………… 36	30 ダイエットに関する意外な論文 (2)
6 本当のほほえみと偽りのほほえみ	[人間]…………… 202
[人間]…………… 42	
7 遺伝子と行動 [科学] …………… 46	
8 ジェンダーバイアスとその克服 (1)	
[社会]…………… 52	
9 ジェンダーバイアスとその克服 (2)	
[社会]…………… 60	
10 風邪に関する常識 [医療] …………… 68	

STAGE 2

11 食の安全と有機農業 (1) [環境] …………… 76	31 科学者セシリア・ペインの学生時代 (1)
12 食の安全と有機農業 (2) [環境] …………… 82	[伝記]…………… 210
13 遊びを通して学ぶこと (1) [教育] …………… 88	32 科学者セシリア・ペインの学生時代 (2)
14 遊びを通して学ぶこと (2) [教育] …………… 94	[伝記]…………… 216
15 竹は不思議な植物 (1) [科学] …………… 98	33 言葉はどれほど人を傷つけるか (1)
16 竹は不思議な植物 (2) [科学] …………… 104	[言語]…………… 222
17 胸やけにはレモンを (1) [医療] …………… 112	34 言葉はどれほど人を傷つけるか (2)
18 胸やけにはレモンを (2) [医療] …………… 118	[言語]…………… 230
19 ハエの特殊能力 (1) [科学] …………… 124	35 言葉はどれほど人を傷つけるか (3)
20 ハエの特殊能力 (2) [科学] …………… 132	[言語]…………… 234

STAGE 3

21 ごみゼロへの挑戦 (1) [環境] …………… 142	36 真実を使っとうそ (1) [人間] …………… 242
22 ごみゼロへの挑戦 (2) [環境] …………… 150	37 真実を使っとうそ (2) [人間] …………… 246
23 ネコの習性 [科学] …………… 156	38 フェイクニュースの拡散 (1) [社会] 254
24 国によって異なる笑顔の意味 (1) [文化] 162	39 フェイクニュースの拡散 (2) [社会] 260
25 国によって異なる笑顔の意味 (2) [文化] 168	
26 国によって異なる笑顔の意味 (3) [文化] 176	

47 コーヒーと心臓疾患 (1) [医療] …………… 308
48 コーヒーと心臓疾患 (2) [医療] …………… 314
49 コーヒーと心臓疾患 (3) [医療] …………… 320

STAGE 6

50 ウナギの生態 (1) [科学] …………… 326
51 ウナギの生態 (2) [科学] …………… 332
52 ウナギの生態 (3) [科学] …………… 336
53 香りと記憶の関係 (1) [科学] …………… 342
54 香りと記憶の関係 (2) [科学] …………… 348
55 コティングリー妖精事件 (1) [歴史] 354
56 コティングリー妖精事件 (2) [歴史] 360
57 コティングリー妖精事件 (3) [歴史] 364
58 「ゲーム化」する日常生活 (1) [社会] 370
59 「ゲーム化」する日常生活 (2) [社会] 376
60 「ゲーム化」する日常生活 (3) [社会] 382

STAGE 7

61 インターネット時代の書籍の役割 (1)
[社会]…………… 388
62 インターネット時代の書籍の役割 (2)
[社会]…………… 394
63 スポーツに見る男女平等と賃金格差 (1)
[社会]…………… 398
64 スポーツに見る男女平等と賃金格差 (2)
[社会]…………… 404
65 スポーツに見る男女平等と賃金格差 (3)
[社会]…………… 408
66 夏目漱石のロンドン生活 (1) [伝記] 412
67 夏目漱石のロンドン生活 (2) [伝記] 416
68 夏目漱石のロンドン生活 (3) [伝記] 420
69 人間と AI の未来予想 (1) [人間] …………… 424
70 人間と AI の未来予想 (2) [人間] …………… 428
71 人間と AI の未来予想 (3) [人間] …………… 434

目まとめてチェック

① カタカナ語 (人の属性・職業) …………… 59
② 生物 …………… 74
③ 人体・身体部位 …………… 117
④ 身の回りのカタカナ語① …………… 140
⑤ 多義語① …………… 161
⑥ カタカナ語 (社会・文化) …………… 167
⑦ 多義語② …………… 175
⑧ 原材料・物質 …………… 187
⑨ 身の回りのカタカナ語② …………… 208

⑩ 接頭辞の整理① …………… 266
⑪ カタカナ語 (生物・化学) …………… 273
⑫ 接頭辞の整理② …………… 324
⑬ 地形・地理 …………… 331
⑭ カタカナ語 (科学技術) …………… 375
⑮ 接頭辞の整理③ …………… 386
⑯ カタカナ語 (身の回りの場所・乗り物)
…………… 411
⑰ 接頭辞の整理④ …………… 441

接頭辞・接尾辞に注目

① 接頭辞 ob-, op- …………… 25
② 形容詞をつくる -ful, -ous …………… 31
③ 接頭辞 dis- …………… 51
④ 形容詞をつくる -ic, -ical …………… 93
⑤ 動詞をつくる接尾辞 …………… 111
⑥ 接頭辞 de- …………… 131
⑦ 接頭辞 re- …………… 149
⑧ 形容詞をつくる -ish, -like …………… 174
⑨ 接頭辞 ex- …………… 181
⑩ 接頭辞 sub- …………… 195
⑪ 接頭辞 out- …………… 201
⑫ 接頭辞 en-, em- …………… 207
⑬ 形容詞をつくる -ive …………… 241
⑭ 接頭辞 pro- …………… 259
⑮ 接頭辞 pre- …………… 265
⑯ 接尾辞 -ly …………… 285
⑰ 接尾辞 -less, -free …………… 291
⑱ 接頭辞 in-, im- …………… 313
⑲ 接頭辞 over- …………… 319
⑳ 名詞をつくる接尾辞 …………… 331
㉑ 接尾辞 -al, -ial, -some …………… 341
㉒ 形容詞をつくる -ary, -ory …………… 347
㉓ 接頭辞 e- …………… 369
㉔ 接頭辞 com-, con-, co- …………… 375
㉕ 接頭辞 ad- …………… 381
㉖ 形容詞をつくる -ant, -ent …………… 393
㉗ 形容詞をつくる -able, -ible …………… 403
㉘ その他の名詞接尾辞 …………… 433

本書の構成

STAGE・英文番号・タイトル・ジャンル

約10レッスンずつの英文を1STAGEとし、難易度順に7STAGEに分けて収録。

赤太字

入試頻出の重要語です。

語数

70～250 words 程度の英文を掲載しています。

Check!

英文内のその他の重要語句や本書で既に学習した単語(青字)を取り上げています。単語のチェックとして活用しましょう。

英文中の見出し語

英文の中で扱った入試重要語。

重要関連語

英文の中で扱った見出し語に関連のある入試重要語。

頻度ランク

番号付きの語(英文中の見出し語と重要関連語)には大学入試での出現頻度を表すランクを★で示しています。

<頻度ランクの目安>

- ★★★★ …入試基礎レベルの最重要語
- ★★★ …入試標準レベルの重要語
- ★ …難関大受験生の必修語

英文+和訳ページ

7 遺伝子と行動 [科学] センター試験

Genes, the basic parts of cells which are passed down from parents to children, may have something to do with human behavior. In an experiment, scientists put flies into a glass tube and placed a light at the end of it. Some of the flies began flying toward the light, some began walking, and some did not move at all. On the basis of the flies' actions, they were separated into different groups: flies that love light, flies that like light, and flies that like the dark. The researchers found that these three groups of flies had variations in a particular set of genes. This suggested to the researchers that the variations in these genes might explain the differences in the flies' behaviors. If genes influence behaviors in flies, why not in humans too? (134 words)

Check!!

- (1) part
- (2) human
- (4) fly
- (7) dark
- (2) have something to do with
- (3) scientist
- (5) not ... at all
- (8) a set of
- (3) place
- (6) separate

7 遺伝子と行動 [科学] センター試験

遺伝子は親から子へと伝えられる細胞の基礎的な部分であるが、人間の行動と関係があるかもしれない。ある実験で、科学者たちは、ハエをガラス管の中に入れて、その先端に明かりを置いた。ハエの中には、光に向かって飛び始めたもの、歩き始めたもの、そしてまったく動かなかったものがあった。そのハエの行動を基礎として(に基づいて)、ハエは異なるグループに分けられた。すなわち、光を大変好むハエ、光を好むハエ、そして暗所を好むハエというグループである。研究者たちは、ハエのこれらの3つのグループには、ある特定の1組の遺伝子に多様性が見られることを発見した。このことは研究者たちに、これらの遺伝子における多様性が、ハエの行動における違いを説明する可能性があることを示唆した。もし遺伝子がハエの行動に影響を与えるならば、人間にも与えないことがあるだろうか。

部分

- 部分
- 人間の
- 飛ぶ
- 暗所
- ～と関係がある
- 科学者
- まったく～ない
- 1組の～
- も置く
- を分ける

速読チャレンジ!

ある程度英文の理解が進んだら、英文の速読に挑戦しましょう。

目標タイムは1st(80wpm)→2nd(100wpm)で設定していますので、自分の英文を読む速さを確認しながら、目標タイムに収まるか挑戦してみましょう。

※ wpm = words per minute (1分あたりの語数)

音声

音声は二次元コードから無料で聞くことができます。

赤太字(和訳)

赤太字部分の下番号は英文ページ内の赤太字部分の下番号と対応しています。

単語ページ

7 遺伝子と行動 [科学]

survey 調査; 概観 動 調査する; 概観する

variation 変異; 変化; 差異; 多様性

vary 異なる; 変わる

differ 異なる(～と) 異なる(in/from)

particular 特定の; 特別の

partly 部分的に; 一部分(は)

partially 不完全に; 部分的に

suggest 提議する(= propose); 示唆する

explain 説明する

narrative 語り; 物語 形 物語の

influence 影響を及ぼす 影響(= on); 影響力

接頭辞・接尾辞に注目 接頭辞 dis-

語義

入試で問われる語義や、語法、使い分けなど注意が必要なポイントを掲載。

例文・熟語・フレーズ

番号付きの単語には例文を掲載。また、特に覚えておきたい重要な熟語やフレーズは青太字で示しています。

コラム

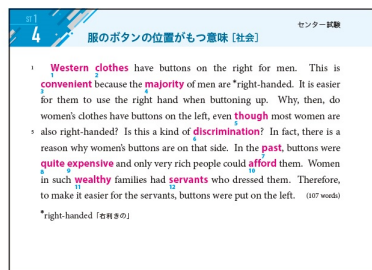
意味上まとめて覚えたい語をまとめた「まとめてチェック」と接頭辞・接尾辞の知識を深める「接頭辞・接尾辞に注目」の2種類のコラムを掲載しています。

本書の効果的活用法

本書の基本的な使い方は以下の3 Step です。

Step1 英文を読む (10分)

- 赤シートで和訳中の赤字を隠して、意味を推測しながら英文を読みましょう。
※苦手な人は、赤シートで隠さずに、和訳を見ながら読んでも構いません。
- 1回読んだだけで内容がつかみづら
い場合は、和訳や別冊の英文解説を
参考にしながら何度か読んで、英文の
大まかな内容をつかみましょう。



Step2 単語を覚える (10～15分)

- 英文の中での単語の使われ方や語義についての記憶を生かしながら、単語の語義を赤シートで隠して、確実に覚えます。
- 繰り返し赤シートで隠す、紙に書くなどして、定着度を高めましょう。
※語義が黒字のものは、付属のしおりなどを使って隠して覚えましょう。
- 単語の理解度に応じて、チェックボックスに✓や○△×をつけて、復習する際にわかりやすくするとよいでしょう。

発展 単語の語義を覚えたら、余力がある人は付属のしおりを活用して単語欄を隠し、英語を覚えているか確認してみましょう。語義から英語を思い出す訓練をすることで、Writing や Speaking などに「使える」単語が増えていきます。

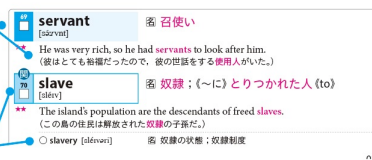
◆単語を覚える順番

人間の記憶力には限界がありますので、1周目ですべてを覚えられるわけではありません。何度も繰り返し取り組み、少しずつ確実に知識を定着させましょう。
《学習例》

1 周目：番号付きの単語を覚える

⇒最重要語を無理なく学習
できる！

2 周目：番号付き単語を復習しながらその派生語を覚える



3 周目：まとめてチェック の単語を覚える

→ここまでで入試出現語の95%をカバー！ 標準的な入試に十分対応
できます。

Step3 英文を繰り返し読む (10～15分)

最低5回(目標10回)は音読し、単語を生きた文脈ごと体に染み込ませましょ
う！ 音声も併用し、正しい発音を確認しながら学習すると効果的です(リスニ
ング対策→p.14へ)。

<音読の効果>

- 単語や構文の定着度アップ！
- スラスラ音読できるようになることで、英文を黙読(＝頭の中での音読を伴う)する際のスピードがアップし、英文内容の理解度も高まる！
※余力がある人は、④「速読チャレンジ」のコーナーにも取り組んで、速読力向上を
目指してみてください。英文の先頭からある一定のかたまりごとに順に読み進める
よう意識すると、スピードもアップします。

音声コンテンツと利用法

◆ストリーミングの場合

英文ページ・単語ページの冒頭の右上にある、二次元コードをスマートフォンで読み込んで
ください。音声再生ページにいき、音声をストリーミング方式で聞くことができます。なお、ス
マートフォン内蔵のカメラによる読み取りを推奨いたします(アプリ経由での二次元コードの読
み取りでは、音声を聞けない場合があります)。

音声サイトのトップページには下記 URL または右記二次元コードからアクセ
スすることができます。

<https://service.zkai.co.jp/books/sokutan-hisshu8/>



英文ページの音声は、著作権の関係上、一部の英文について再生時にパスワードを求められま
す。以下のパスワードを入力して再生してください(SとHは大文字です)。

ストリーミングのパスワード: zkaiSokutanH08

◆ダウンロードの場合

下記 URL または右記二次元コードにアクセスすると、ダウンロード用の音声
を提供しているページにアクセスすることができます(PCでのアクセス推奨)。
<https://service.zkai.co.jp/books/sokutan-hisshu8/download>



ダウンロードページにおいても、著作権の関係上、一部の英文についてダウンロード時にパス
ワードを求められます。以下のパスワードを入力してください(SとHDLは大文字です)。

ダウンロード(PC推奨)のパスワード: zkaiSokutanHDL08

リスニング対策

二次元コードから飛べる音声サイト (p.11) を活用すれば、単語を学習しながらリスニング対策も効果的に進めることができます。**リスニングに限らず、一般に語学の教材は、「部分的にわからない箇所があり、しかも長続きするだけの内容があるもの」がベストだと言われています。**その点、本書の英文は易しい単語と難しい単語の両方を含んでいますので、好都合でしょう。

◆音声サイトの構成

以下のものが収録されています。

A：英文 (ナチュラルスピード (アメリカ英語・イギリス英語) / スロースピード (アメリカ英語))

B：単語／単語→語義／語義→単語／例文の読み上げ

実際にリスニングの訓練をする時には、次の4点に注意しながら、耳に英語の音をなじませましょう。

①英文の強勢、リズムに注意する

原則として、本動詞、名詞、形容詞、副詞、疑問詞などの「内容語」に強勢が置かれ、「機能語」と呼ばれる前置詞、接続詞、助動詞、人称代名詞、be 動詞などには強勢は置かれません。

この強勢のある箇所は、比較的等間隔で現れ、強勢のない箇所は比較的弱めに、そして速めに発音されます。こういうリズムこそが、英語の大きな特徴だと言われています。

英単語は、強勢が置かれないで発音される場合には、教室で学ぶ発音と異なって聞こえる場合があります。例えば、some が [sm] になり、him が [ɪm] となり、from が [frɪm] と発音されたりします。

②破裂音に注意する

[p], [t], [k], [b], [d], [g] の音を「**破裂音**」と言いますが、that car のように、「**破裂音+破裂音**」の形になった場合、**前の破裂音（この場合には [t]）が消滅します。**

③脱落現象に注意する

例えば、She couldn't do that. の発音を聞いていると、あたかも She couldn do that. と言っているかのように聞こえます。これは 't の箇所の発音が脱落してしまったためです。スピードが速いほど、この傾向が顕著になってきます。

④同化現象に注意する

例えば、I'm pleased to meet you. では t you の箇所がつながり、同化して [tʃu:] のように聞こえます。このような**つづりと実際の音との間のギャップを埋める努力をすることも大切です。**

別冊英文解説

■ 英文解説

1 お茶の木の種類 【文化】 (74 words)

1/1 ⑤ Green tea has a long history in Japan and strong ties with Japanese culture. 動詞 has の目的語は a long history と strong ties.
1/2 ⑥ Because of this 「このことのために→このため」: because of → は前置詞の働きをして、「→が原因で」という意味になる。this は前文の内容「緑茶には、日本における長い歴史と、日本文化との強い結びつきがある。」を受ける。
1/3 ⑦ one might think that ... 「人は…だと考えるかもしれない」: one は「(一般的に) 人」を意味する。
1/4 ⑧ a plant (which is) unique to Japan 「日本に特有の植物」: (関係代名詞 + be 動詞) が省略されている。
1/5 ⑨ no matter what its color or taste (may be) 「その色あるいは味はどんなものであっても」: この節では may be または is が省略されている。may be または is の補語は what である。
1/6 ▶ 疑問代名詞が主語になっている形に注意
what causes the differences in taste and color?
S V O
1/7 ⑩ different ways of growing the tea and treating it: 前置詞 of の目的語は growing → と treating →。

2 オオカミの子育て 【科学】 (80 words)

1/1 ⑪ be ready to do 「…する準備ができている」
1/2 ⑫ they get a little older 「赤ん坊が少し大きくなる」: (get + 形容詞) で「…になる」の意味。
1/3 ⑬ the mother can leave them 「母親は赤ん坊を置いていくこともできる」: この leave は他動詞で「～から離れる: ～を去る」という意味。
1/4 ⑭ go off to hunt 「狩りをしに出かける」: off は「離れて」という意味の副詞。
1/5 ▶ 不定詞の副詞的用法
another female will stay behind-to guard the young wolves.
S V
不定詞の副詞的用法
⑮ ⑯ behind will はここでは「賢性」の意味を表し、「…するものだ」となる。
⑮ behind は、ここでは前置詞ではなく副詞で、「あとに」の意味。

2

別冊では英文の中で出現した語句や文法事項、内容面の補足などの解説を掲載しています。

構造解説

各英文で特に注意すべき文構造をピックアップ。

学習計画例

本書では約 1,900 語の番号付き単語を 7STAGE に分けて掲載しています。基本的には本書掲載の英文の本数（71 本）をもとに、自分の学習状況に合わせて無理のないペースで「1 日〇本」という学習の進め方がオススメです。番号付き単語の数を基準に計画を立てるのも 1 つの手です。

本書の STAGE ごとの番号付き単語の数は以下ようになります。いずれの STAGE も 200 ～ 300 語程度になっており、1 日 50 語ペースで学習を進めていけば約 40 日程度で番号付き単語を確認することができます。また、1 週間で 1STAGE ずつ進めるという計画でも、7 週間（約 50 日）で学習を進めることができます。英文を読むのが苦手な方や、まずは単語ページに掲載されている単語のチェックから始めたいという方は、以下の番号付き単語の数を目安に学習計画を立ててみましょう。

STAGE	番号付きの単語数
1	243
2	307
3	328
4	280
5	247
6	275
7	223

また、英単語集を 1 周学習しただけで英単語をすべて覚えることは非常に困難です。そのため、何回も学習を繰り返し、時間をかけて単語を定着させることが重要になります。例えば以下のように、学習する範囲を徐々に広げながら本書の内容を学習することで、1 周あたりの単語学習の負担を減らしながら、無理なく学習することができるでしょう。

例 1) 最初から英文を読みながら学習する場合

- 1 周目：英文を読み、単語ページの番号付き単語を覚える
- 2 周目：英文で番号付き単語を確認しながら、単語ページの派生語や関連語を覚える
- 3 周目：単語ページで覚えきれていない単語を中心にチェック
- 4 周目以降：英文を何度も読み込みながら、単語ページで知識の抜けを埋める

例 2) まずは単語を覚えることを優先したい場合

- 1 周目：単語ページで頻度ランク★★～★★★★の単語のみ覚える
- 2 周目：1 周目の復習をしながら頻度ランク★の単語も覚える
- 3 周目：英文で単語の定着を確認しながら、派生語や関連語も覚える
- 4 周目以降：英文を何度も読み込みながら、単語ページで知識の抜けを埋める

自分に合った速単の学習法を見つけて、継続的に学習を進めましょう。



- 1 Green tea has a long ¹history in Japan and strong ²ties with Japanese ³culture. Because of this, one might think that green tea comes from a ⁴plant ⁵unique to Japan. However, all tea, no ⁶matter what its color or ⁷taste, comes from the same plant. Then what ⁸causes the differences in ⁹taste and color? They are, in ⁹fact, the result of different ways of growing the tea and ¹⁰treating it after it is picked. (74 words)

緑茶には、日本における長い¹歴史と、日本³文化との強い²結びつきがある。このため、緑茶は日本に⁵特有の⁴植物から作られていると思う人がいるかもしれない。しかし、すべてのお茶は、その色あるいは⁷味がどのようなものかは⁶問題ではなく〔どのようなものであっても〕、同じ植物から作られている。それでは何が味や色における違いを⁸もたらすのか。それらは、⁹実際のところ、お茶を育て、お茶が摘み取られたあとにそれを¹⁰処理する、さまざまな方法〔方法の違い〕の結果なのである。

☑ Check!!

☐ l.2 because of ~☐ l.2 come from ~☐ l.3 however☐ ~が理由で☐ ~からとれる☐ しかしながら☐ l.4 difference☐ l.5 result☐ l.5 grow☐ 違い☐ 結果☐ を育てる☐ l.6 pick☐ を摘む



1 history [hɪ'stɒri] 名 歴史(学)；経歴
 *** He is the best player in football **history**. (彼はサッカーの**歴史**上最高の選手だ。)
 ○ **historian** [hɪ'stɒriən] 名 歴史家
 ○ **historical** [hɪ'stɒrɪkəl] 形 歴史の

2 tie [taɪ] 名 つながり；ネクタイ；同点 他 を結ぶ；をつなぐ
 ** Life satisfaction is closely **tied** to health. (人生の満足度は健康と密接に**関係**している。)

3 unite [juːnaɪt] 他 自 一体にする〔なる〕
 *** The new manager has **united** the team and they have started to win games. (新監督はチームを**結束**させ、彼らは試合に勝ち始めた。)
 ○ **United Nations** (国際連合)
 ○ **unify** [juːnəfaɪ] 他 を統一する
 ● **bind** [baɪnd] 他 を縛る；を結びつける

4 culture [kʌltʃər] 名 文化；教養；培養 他 を培養する
 *** One good reason for traveling abroad is to experience different **cultures**. (海外旅行をする妥当な理由の1つは、異**文化**を体験することだ。)
 ○ **cultural** [kʌltʃərəl] 形 文化的な
 ○ **cultivate** [kʌltəveɪt] 他 (技能など)を養う；を栽培する；を耕す
 ○ **cultivation** [kʌltəveɪʃən] 名 育成；耕作

5 plant [plɑːnt] 名 植物；工場 他 を植える
 *** There was a fire at the power **plant**. (発電**所**で火事があった。)
 ○ **plantation** [plæntəʃən] 名 大農園

6 unique [juːnɪk] 形 特有の《to》；唯一の
 *** These flowers are **unique** to this part of the country. (この花はその国のこの地方に**特有**のものだ。)

7 characteristic [kærəktərɪstɪk] 名 形 特徴(的な)《of》
 ** One of the **characteristics** of a successful business person is a willingness to take risks. (成功する実業家の**特徴**の1つは進んでリスクを取ることだ。)
 ○ **be characteristic of** ~ (～に**特有**の)

8 matter [mætər] 名 問題；物質；事態 自 重要である
 *** It doesn't **matter** to me what he does. (彼が何をしようと私にとっては**重要**ではない。)
 ○ **to make matters worse** (その上**悪い**ことに)
 ○ **no matter what ...** (たとえ何が…であろうとも)
 ○ **as a matter of fact** (実は)

9 taste [teɪst] 名 味；好み《for》 自 味がする 他 の味を見る
 *** I like his **taste** in clothes. (私は彼の服の**趣味**が好きだ。)
 ○ **tasty** [teɪsti] 形 風味のある
 ● **spice** [spáɪs] 名 薬味；香辛料

10 edible [édəbl] 形 食べることのできる；食用の
 ** In the woodlands there are many **edible** mushrooms. (森林地帯にはたくさんの**食用**のキノコがある。)

11 cause [kɔːz] 他 を引き起こす 名 原因；理由
 *** The accident was **caused** by his careless driving. (その事故は彼の不注意な運転によって**引き起こ**された。)

12 account [əkaʊnt] 自 占める；説明する；原因となる《for》 名 説明；口座；報告
 *** I can't **account** for why he moved abroad. (私は彼がなぜ海外に引っ越したのか**説明**できない。)
 ○ **take ~ into account** (～を**考慮**に入れる)

13 fact [fækt] 名 事実
 *** It's a **fact** that he quit his job last year. (彼が去年仕事を辞めたのは**事実**だ。)
 ○ **in fact** (実際のところ)

14 treat [tri:t] 他 を扱う；を治療する；を処理する 名 ごほうび；ごちそう
 *** The only way to **treat** the illness is rest and relaxation. (病気を**治す**唯一の方法は休養とリラックスです。)
 ○ **treat A as B** (AをBだとみなす)
 ○ **treatment** [tri:tmənt] 名 治療；取り扱い

1 お茶の木の種類 [文化] (74 words)

- 1.1 [文法] Green tea has a long history in Japan and strong ties with Japanese culture. : 動詞 has の目的語は a long history と strong ties。
- 1.2 [内容] Because of this「このことのために→このため」: because of ~は前置詞の働きをして、「~が原因で」という意味になる。this は前文の内容「緑茶には、日本における長い歴史と、日本文化との強い結びつきがある。」を受ける。
- 1.2 [語句] one might think that ...「人は…だと考えるかもしれない」: one は「(一般的な) 人」を意味する。
- 1.2 [語句] a plant (which is) unique to Japan「日本に特有の植物」: <関係代名詞 + be 動詞> が省略されている。
- 1.3 [語句] no matter what its color or taste (may be)「その色あるいは味がどんなものであっても」: この節では may be または is が省略されている。may be または is の補語は what である。
- 1.4 ▶疑問代名詞が主語になっている形に注意
what causes the differences in taste and color?
 S V O
- 1.5 [内容] different ways of growing the tea and treating it : 前置詞 of の目的語は growing ~ と treating ~。

2 オオカミの子育て [科学] (80 words)

- 1.2 [語句] be ready to do「…する準備ができている」
- 1.4 [語句] they get a little older「赤ん坊が少し大きくなる」: <get + 形容詞> で「…になる」の意味。
- 1.4 [語句] the mother can leave them「母親は赤ん坊を置いていくこともある」: この leave は他動詞で「~から離れる; ~を去る」という意味。
- 1.5 [語句] go off to hunt「狩りをしに出かける」: off は「離れて」という意味の副詞。
- 1.6 ▶不定詞の副詞的用法
another female will stay behind <to guard the young wolves>
 S V 不定詞の副詞的用法

[文法] 助動詞 will はここでは「習性」の意味を表し、「…するものだ」となる。

[語句] behind は、ここでは前置詞ではなく副詞で、「あとに」の意味。